

# けい酸カルシウム板面

## 18章9節:合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) ハイライト#700やすらぎ(標準仕様)

公共仕様No.  
DNT-新設・9-5-05

### 使用材料一覧表

規格 一般名称	商品名	ホルムアルデヒド 放散等級	希釈剤
1 JIS K 5663 合成樹脂エマルジョンシーラー	水性マイティーシーラーマルチ	F☆☆☆☆	—
2 JIS K 5663 合成樹脂エマルジョンペイント	ハイライト#700やすらぎ	F☆☆☆☆	水道水

### 塗装仕様

表18.2.7 せっこうボード面及びその他ボード面(けい酸カルシウム板面)の素地ごしらえ【A種】

工程	塗料その他			面の処理
	規格番号	規格名称	種類	
1 乾燥	—			継目処理部分を十分に乾燥させる。
2 汚れ、付着物除去	—			素地を傷つけないように除去する。
3 吸込止め	反応形合成樹脂ワニス(2液形エポキシ樹脂ワニス) <sup>(注3)</sup> (弊社推奨商品:マイティーエポシーラークリヤー)			全面に塗る。
4 穴埋め、 パテかい	JIS K 5669	合成樹脂エマルジョンパテ	一般形	釘頭、たたき跡、傷等を埋め、不陸を調整する。
	JIS A 6914	せっこうボード用目地処理材	ジョイント コンパウンド	
5 研磨紙ざり	研磨紙P120~220			パテ乾燥後、表面を平らに研磨する。
6 パテしごき	JIS K 5669	合成樹脂エマルジョンパテ	一般形	全面にパテをしごき取り平滑にする。
	JIS A 6914	せっこうボード用目地処理材	ジョイント コンパウンド	
7 研磨紙ざり	研磨紙P120~220			パテ乾燥後、全面を平らに研磨する。

- (注) 1.屋外及び水回り部の場合は、工程4及び工程6の合成樹脂エマルジョンパテは、塗料製造所の指定するものとする。  
2.工程4及び6のせっこうボード用目地処理材は、素地がせっこうボードの場合に適用する。  
3.けい酸カルシウム板の場合は、工程3の前に吸込止めとして反応形合成樹脂ワニス(2液形エポキシ樹脂ワニス)全面に塗る。  
4.仕上げ材が仕上塗材の場合は、パテは仕上塗材製造所の指定するものとする。  
5.仕上げ材が壁紙の場合は、壁紙専用のものとする。

表18.9.1 合成樹脂エマルジョンペイント塗り【A種】

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	塗付け量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔 (20℃)
1 下塗り	水性マイティー シーラーマルチ	透明なブルー クリヤー	—	無希釈	刷毛 ローラー	0.07	2時間以上
					スプレー		
2 中塗り (1回目)	ハイライト#700 やすらぎ	各色	—	5~15	刷毛 ローラー	0.10	2時間以上
				20~30	スプレー		
3 研磨紙ざり	研磨紙P220~240						清掃後
4 中塗り (2回目)	ハイライト#700 やすらぎ	各色	—	5~15	刷毛 ローラー	0.10	2時間以上
				20~30	スプレー		
5 上塗り	ハイライト#700 やすらぎ	各色	—	5~15	刷毛 ローラー	0.10	—
				20~30	スプレー		

- (注) 1.素地ごしらえの種類は、塗料その他の欄による。  
2.押出成形セメント板面の素地ごしらえは、表18.2.6によるB種とする。

18.2.7 せっこうボード面及びその他ボード面の素地ごしらえ  
せっこうボード面及びその他ボード面の素地ごしらえは表18.2.7により、種別は特記による。  
特記がなければ、せっこうボードの目地工法が継目処理工法の場合はA種、その他の場合はB種とする。

18.9.2 せっこうボード面及びその他ボード面合成樹脂エマルジョンペイント塗り  
合成樹脂エマルジョンペイント塗りは表18.9.1により、種別は特記による。特記がなければ、B種とする。  
なお、天井面等の見上げ部分は、工程3を省略する。

#### 注意事項

- \* 上記塗付け量は国土交通省 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成25年版に掲載されている数値です。  
そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。
- \* 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。